

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第2号 畜産

発行日 平成21年 4月23日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 019-688-5525)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

牧草 適正な春施肥を心がけましょう。
トウモロコシ 地域に合った品種の選定をもとに、栽培計画を立てましょう。

1. 牧草

(1) 草地管理

牧草は平均気温が5℃になった頃から生育を開始します。

施肥作業は圃場が乾いてから行うようにしましょう。圃場が乾いていないと、機械が圃場に入った際に草地を痛める原因になります。

また、草丈の短いこの時期に、裸地等草地の状況を確認しておきましょう。

2. 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは単位面積あたりの収量が高く栄養価にも優れる飼料作物です。

近年、配合飼料価格が高騰していることから、飼料用トウモロコシの自給はますます重要となりました。

地域の気象条件に適合した品種を選定し、安定生産に努め、飼料自給率の向上を図りましょう。

(1) 品種の選定

トウモロコシの栽培は、品種の選定が最も重要です。

栄養収量と発酵品質の面からも「黄熟期」に収穫することが望まれます。したがって、降霜前に黄熟期に達する品種を選定しましょう。

栽培面積が多くなる場合には、熟期の異なる品種を組み合わせることで収穫期間の延長を図りましょう。

(2) 適正な堆肥の施用

家畜ふん尿の多量投入はトウモロコシの硝酸態窒素含量を高めるほか、ミネラルバランスも崩れ、家畜の栄養上問題となります。10a当たり3~4tの施用としましょう。

(3) 霜害に注意

トウモロコシの発芽は約1週間ですので、予想される晩霜の1週間前が播種の早限です。しかし、晩霜は年によって異なりますので、これまで度々霜害を被っている圃場では覆土を5cm程度に厚くするなどの対策も講じましょう。

(4) 栽植本数

密植すると雌穂が小さくなりTDN含量が低下するだけでなく倒伏にも弱くなります。10a当たりの適正栽植本数は、早生品種で7,000本、中生品種で6,500本、晩生品種で6,000本程度です。

(5) 最新の試験研究成果～中生品種の紹介～

岩手県農業研究センター畜産研究所飼料生産研究室より出された最新の試験研究成果を紹介いたします。本県で高位生産が期待できる飼料用トウモロコシ中生品種の紹介です。

品 種 名 : ゴールドデントKD660

特 性 : 乾物収量、特にTDN収量に優れた中生の多収品種。

耐病性では根腐病、紋枯病に対して強い。その他の病害に対してはほぼ同程度の強さである(標準品種「セシリア」との比較)。

適用地帯 : 標高500m以下の県下全域

表1 生育的特性及び形態的特性

品種名	試験年次	播種日からの日数				播種～黄熟期までの 所要積算温度(°C)		かん長	着雌穂高
		発芽期	雄穂抽出期	絹糸抽出期	黄熟期	有効	積算		
KD660	H19	11	85	84	137	1285	2666	296	157
	H20	10	84	84	136	1225	2594	291	155
	平均	11	85	84	137	1255	2630	294	156
セシリア	H19	11	82	82	133	1249	2592	279	158
	H20	10	81	81	130	1191	2500	270	155
	平均	11	82	82	132	1220	2546	275	157

表2 障害及び病害

品種名	試験年次	有効雌穂 割合 (%)	倒伏 割合 (%)	病害特性					
				スス紋 (1-9)	ゴマ葉 (1-9)	黒穂病 (%)	根腐病 (%)	紋枯病 (%)	萎縮病 (%)
KD660	H19	96.7	0.0	3.7	3.3	0.0	0.0	3.5	0.0
	H20	100.0	0.0	2.7	3.0	0.0	0.0	6.6	0.0
	平均	98.4	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	5.1	0.0
セシリア	H19	100.0	0.0	3.3	3.0	0.0	4.8	3.1	0.0
	H20	100.0	0.0	3.0	4.0	0.0	1.8	13.6	0.0
	平均	100.0	0.0	3.2	3.5	0.0	3.3	8.4	0.0

表3 収量性及び総合評価

品種名	試験年次	生草 収量 kg/10a	乾物収量				TDN収量 kg/10a	総合評価
			雌穂 kg/10a	総量 kg/10a	雌穂率 %	生産速度 kg/10a/日		
KD660	H19	8584	1202	2303	52.2	18.0	1663	A
		138	103	109	94	109	108	
	H20	8298	961	2637	36.4	22.2	1792	A
セシリア	H19	139	95	136	70	136	128	
		8441	1082	2470	44.3	20.1	1728	
	H20	139	99	122	82	123	118	
セシリア	H19	6212	1165	2107	55.3	16.5	1539	
		100	100	100	100	100	100	
	H20	5950	1012	1945	52.0	16.3	1403	
セシリア	H19	6081	1089	2026	53.7	16.4	1471	
		100	100	100	100	100	100	
	H20	6081	1089	2026	53.7	16.4	1471	

下段は対標準比(%)

畜産研究所(標高250m)における試験成績

〔施肥量(kg/10a) 窒素 12、リン酸 14.4、カリ 12

〔栽植密度 6504本(畝間75cm×株間20.5cm)

【クマ対策】

(6) 県内各地において、トウモロコシに対するクマの被害(倒伏と収穫量の減少)が見られます。

被害を軽減させるための対策としては、電気牧柵の設置が最も効果的です。

電気牧柵は、トウモロコシが出穂する時期にはその設置を完了させている必要があるため、7月中旬に設置をします。

電気牧柵を設置する場合、電気牧柵を設置するためのスペースと、トウモロコシへの誘惑を断ち切るためのスペース、見通しを良くしてトウモロコシ畑へ侵入しづらくするためのスペース(緩衝帯)、さらには、電気牧柵に異常がないかを見回すためのスペースとして、圃場の周辺から3m程度が必要です。

圃場周辺から3m程度(4うね分)離して、トウモロコシを播種し、そのスペースについては、雑草等が繁茂しないよう管理します。なお、今年度は、6月下旬に電気牧柵設置の研修会を予定しております(場所:滝沢村)。

春の農作業安全月間実施中! [4月15日]

急ぐより 家族の笑顔を大切に 想う心で ゆとりの仕事 [~6月15日]

次号は5月28日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。